

平成30年3月31日

関係者各位

国際ペットワールド専門学校  
校長 田中 和志

### 「学校関係者評価報告書」の公表について

この度、学校関係者評価委員会を設置し、「学校関係者評価委員会」を実施いたしました。その内容を取りまとめました「平成29年度学校関係者評価報告書」をここに公表致します。

学校に関連する企業・業界の方、卒業生や地域住民の方より、「平成29年度自己評価」へのご評価をいただくと共に、職業人、社会人として必要な、技術、技能、人間力等について、貴重なご意見、ご指導をいただきましたことを感謝申し上げますと共に、委員の皆様からのご意見を真摯に受け止め、より質の高い教育の提供、より優れた学校運営を目指し、教職員一同、努力して参る所存です。今後とも、より一層のご指導、ご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

#### 1. 学校関係者評価委員名簿

	氏名	所属等	役職	種別
1	小島雅彦	新潟市動物ふれあいセンター		企業等委員
2	高井虎之介	水草と美魚の店 A.t	代表	企業等委員
3	黒嶋友也	国際ペットワールド専門学校 校友会	役員	卒業生
4	松田大	国際ペットワールド専門学校 Club WaN 会員		地域住民

#### 2. 学校関係者評価委員会議事録（概要）

【実施日】平成30年2月27日（火）午後3時30分開始

【出席者】委員：小島雅彦、高井虎之介、黒嶋友也、松田大（4名）

学校教職員：若林耕治（1名）

##### 【進 行】

1. 開会（午後3時30分）
2. 副校長挨拶
3. 各委員の紹介
4. 学校関係者評価の趣旨説明  
学校関係評価の概要や経緯について説明
5. 平成29年度 自己点検・自己評価報告

学科担当者より本校の自己評価項目の達成状況と課題及び改善策等を報告

#### 7. 質疑及び意見交換

各委員より自己点検・自己評価に関する質疑または意見等、ご指導をいただく。

#### 8. 閉会（午後5時）

（指摘事項・意見等）

#### 【教育理念】

開校当初から「人と動物とのより良い関係づくり」を教育理念として掲げていることは変わっていない。この理念を理解している保護者は、アンケートから88%であることが分かった。これは非常に素晴らしいことであり、今後も継続し欲しい。

#### 【学校運営】

学校運営については、新潟市で初めての動物夜間急患センターを設立する運びとなり、喜ばしいことである。素晴らしい産学共同と言える。実際の開院までは、中心となっている獣医師の先生方との連携や、国際ペットワールド専門学校の設備運用の整備が必要と思われる。両者が協調してスムーズな開院を目指せるようにして欲しい。

#### 【教育活動】

今年度から、学科編成（学科名称等）が変わり、多様な選択肢を選べるようになった。入学前に、将来像や職業の理解をしておかないと、学科名のイメージだけが先行してしまい、本当にやりたいことを迷ってしまう原因になりかねない。十分な説明が必要である。

動物看護師資格取得対象の学科は、認定動物看護師試験へ向けてのコアカリキュラムが多すぎるが、これの負担軽減はできないのか。もし軽減できるのであれば、検討した方が良いのではないかと。動物看護師統一認定試験機構から、数年後に新しいコアカリキュラムが提案されるようだ。このカリキュラムの中で、動物病院でのインターン実習を、授業として組み入れようという動きがあるとのことであるが、獣医師会とも連携し、実習生の受け入れ方法、実習の内容、評価方法などを検討するべきである。

あいさつができる学生と、あいさつができない学生で、レベルに大きく開きがあるようだ。ペット美容学科では、グルーミング実習のモデル犬に、一般飼い主からの犬の提供を受けている。朝、犬を預かって、夕方返す時に、学生自身に受付と接客をさせた方が、学生達の成長につながるのではないかと。

#### 【学修成果】

企業へ就職した卒業生が、就業し続けているのか、退職しているのか、転職先、など、卒業生の動向については、把握や取りまとめが不十分と思われる。卒業生の割合は女子が多く、結婚、出産、子育てによる退職もあるのではないかと。業界的に、育休制度、産休制度が整備されている事業者は少ない。まだ、いないかもしれないが、子育てが落ち着いた頃に、再復帰したいという卒業生は居るのではないかと。そのような、卒業生のフォローも需要として考えられるのではないかと。

就職については、企業の求人数に対して、学生の人数が少ない状況であるとのこと。業界は、人手不足になっているようだ。学科によっては、年度の途中で全員が内定、進路決定してしまい、求人との問い合わせに対してお断りをするこゝもあつたとのこと。今後、若年層の人口減少により、人手不足が続くことが予想され、業界への人材供給が追いつかなくなる可能性もある。雇用条件、待遇の良いところへ就職を決める学生も多いため、求人条件の見直しを企業へ求めるべきではないか。

#### 【学生支援】

年々、奨学金の利用者が増えている傾向にあるとのこと。入学前からの奨学金利用の紹介や、学費サポートに関する相談受付を行っている点が評価できる。就職活動の際のインターンシップで、宿泊費や交通費に助成金制度を用意しているというサポート体制も評価できる。しかし、実際の学生の利用申し込みが少ないことは、何らかの使いにくい要因があるのではないか。もしくは、周知が弱いのではないか。学生本人、保護者共に喜ばれる、インターンシップ助成金の利用促進については、もっと力を入れた方がよい。

#### 【教育環境】

既に、大部分の改修工事が終了しているとのこと。校舎がきれいになって、より良い環境で授業を受けることができることは、素晴らしい。新たになつた実習室での、より良い授業を期待する。また、夜間急患センターが開始されれば、実際の獣医療と、教育の相乗効果も期待される。

#### 【学生の受入れ募集】

多数の動画が、Youtube へ投稿をされていて、在校生の様子や教育内容が分かりやすい。動物やアクアリウムの学校だけあつて、モデルに事欠かない。かわいい癒し系の動物の動画も面白くてよい。

以上